

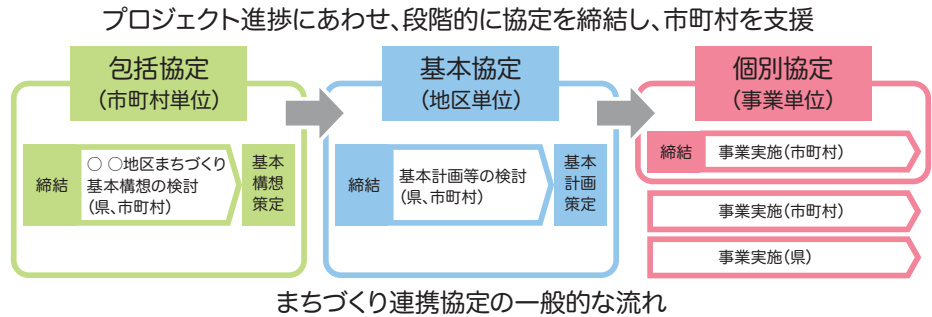


26. 奈良モデルの実行

(137) 市町村と連携したまちづくりの推進  
(138) まちづくり協定の進捗状況と支援の状況

これまでは

まちづくりに前向きでアイデアや熱意のある市町村において、その方針が、県のまちづくりに関する方針と合致するプロジェクトについては、県と市町村との連携協定を締結し、協働でまちづくりを進めてきました。



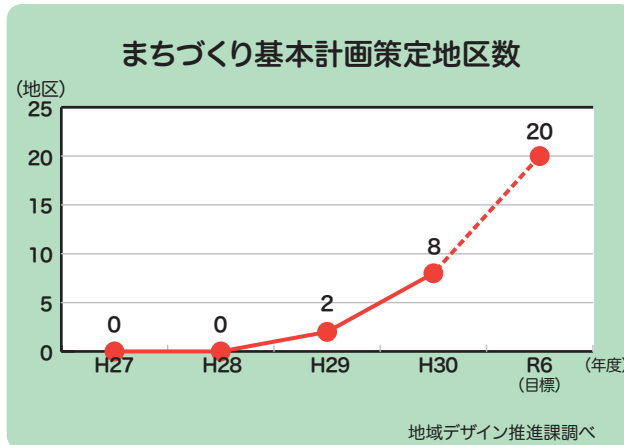
もっと良くするために

- ・協働まちづくりの検討を深めるとともに新しいまちづくりの対象を検討します。
- ・まちづくりの進め方について、類似パターンを分類し共通のやり方を検討します。
- ・市町村のまちづくり構想をさらに後押しします。

目指す姿

令和6年度までにまちづくり基本計画策定地区数を20地区にします。

人口の急激な減少と高齢化が進んでいる中、これからは各地域の活力の維持・向上を図りながら、誰もが快適な生活環境を送れるようなまちづくりを考えていく必要があるね。



効果的かつ効率的にまちづくりを進めるため、奈良県独自の取組として、まちづくりのアイデアと熱意がある市町村と協働してまちづくりを進めているんです。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
まちづくり基本構想策定及び基本協定締結に向けた支援	各地区ごとのまちづくりの取組への支援		
基本計画策定に向けた支援	各地区ごとのまちづくりの取組への支援		
個別協定締結に向けた支援	個別事業ごとのまちづくりの取組への支援		



27. 行政マネジメント (147) 県有施設の耐震整備 (148) 県有資産のファシリティ・マネジメント (維持、管理、活用)

これまでは

県有施設の耐震工事を順次実施してきました。

耐震化については、順次取組を進めてきており、耐震化率も上昇していますが、一部の施設については、現時点においても耐震性が十分でないものもあります。  
(耐震化率 H19 60%→H30 90%)

長期的な視点で県有資産の統廃合・更新・長寿命化を検討してきました。

奈良県の公共施設は、竣工後30年を経過したものが全体の約73%(H31.4時点)、10年後には約92%に達することから、今後、更新・改修・維持管理費用が増大する懸念があります。

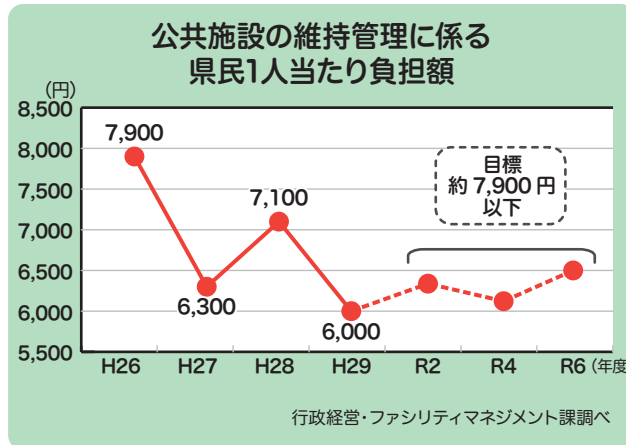
もっと良くするために

- ・ 県有施設の保有総量最適化を目指します。
- ・ 未利用・低利用の県有地や市町村保有地のさらなる有効活用に取り組みます。
- ・ 県有施設の長寿命化・耐震化を計画的に推進します。
- ・ 公共施設等を適正に管理することにより、県民の財政負担を軽減・平準化します。
- ・ 耐震対策については、施設を利用する県民の安全・安心の確保を最優先に考慮しつつ、県民の利便性・快適性の向上に資するよう、「県有施設等耐震検討チーム」において検討します。

目指す姿

令和6年度に公共施設の維持管理に係る県民1人当たりの負担額を約7,900円以下にします。

県の施設の維持管理に係る県民1人当たりの負担額は少しずつ減っているんだね！この先、人口減少が進む中で減らすのは大変じゃないのかな。



そうですね。人口が減ると県民1人当たりの負担額を減らすのは簡単ではないけれど、引き続き計画的に維持修繕を行い、維持管理にかかる費用の削減に努めます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
有県施設の長寿命化・耐震化の推進	県有施設の耐震化		
県有施設の保有総量最適化(1)【五條新庁舎の建設】	五條新庁舎の建設	●工事竣工	運用開始(予定)
県有施設の保有総量最適化(2)【吉野高校校舎の有効活用】	基本計画 先行工事	工事 ●奈良県フォレストアカデミー開校	
県有資産の有効活用【低・未利用資産の活用】	外部の専門家の意見を踏まえ低・未利用資産の活用を検討		



## 28. 財政マネジメント (151) 税徴収率向上、適正課税推進、税偏在是正

## これまででは

## 県税徴収率

県税徴収率は年々上昇しているものの全国順位は最下位(47位)です。県税の中で徴収率の低い個人県民税、自動車税の構成比率が他県と比べて高いことも一因となっています。

## 適正課税

適正課税を実行するため、法人二税について、医療法人及び未申告法人の調査、自動車税について、身体障害者減免の現況調査を行うなど、税務課と各事務所が連携し、課税調査に取り組んでいます。

## 税偏在是正

税偏在是正のため、地方消費税の清算基準の見直し(人口比率の大幅な引き上げ:17.5%→50%)、法人課税の新たな偏在是正措置の導入(格差是正:6.00→3.15倍)に尽力しました。

## もっと良くするために

## 県税徴収率

市町村との連携による協働徴収の実施や早期かつ厳正な滞納処分の推進等により、県税徴収率を向上させます。

## 適正課税

適正な申告指導と的確な情報収集に努めるとともに、税の公平性を確保するため現地調査などの課税調査を強化します。

## 税偏在是正

経済社会情勢の変化に応じて、偏在性が小さく税収が安定的な地方税体系の構築に引き続き取り組んでいきます。

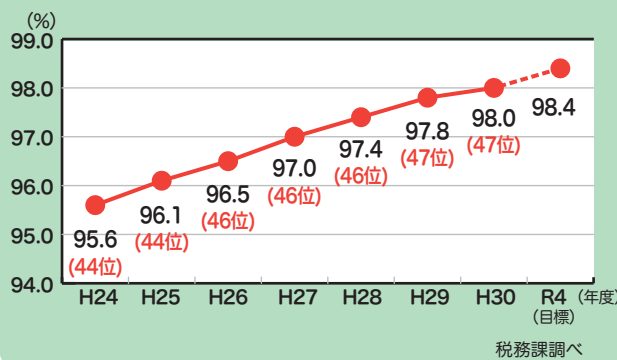
## 目指す姿

令和4年度までに県税徴収率を98.4%にします。

奈良県の県税徴収率は着実に伸びてきているね!!



## 県税徴収率



そうなんです!!市町村の税徴収率についても、引き続き市町村に対し、市町村毎の徴収率等の情報提供による意識醸成や県職員の派遣等により、徴収率向上に向けた取組を推進していきます!!



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
税収確保の取組の推進	滞納整理の推進、税務調査体制の充実、納税手続関連書類の多言語化、収納手段の拡大、税の啓発活動の推進		
市町村との連携・協働による税収確保に向けた取組	県税務職員の市町村派遣、「市町村税・県税の一斉滞納整理強化月間」の実施、個人住民税の特別徴収推進		
	徴収率の向上が進まない小規模町村に対するそれぞれの実情に応じた伴走型支援の実施		